

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(長崎大学史からみる日本近現代) Society and History (Japanese Modern Times in the History of Nagasaki University)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:井手 弘人 / Eメールアドレス:hirotoi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:計画・評価本部計画・評価室 /オフィスアワー: 毎週 火曜日 13:00-14:00、16:00 - 17:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: なぜ長崎大学が存在しているのでしょうか?なぜみなさんは長崎大学の学生なのでしょう? 今年は長崎大学創基 150 周年。この授業では長崎大学の 150 年史をふり振り返りながら大学と社会との関係を理解し、同時に歴史を使って長崎大学とみなさん自身、それぞれの「自分さがし」を楽しむ時間にしていきます。 授業方法: (1) コメント分析: みなさんからの一言コメント分析を通して、みなさんの意見・疑問のフォローアップなどをします。 (2) 講義: 長崎大学の歴史を、当時の社会背景をふまえて解説します。 (3) 授業要約・一言コメント: 授業の最後に、授業内容の簡単な要約と感想・疑問・意見などの一言コメントをもらい、翌週の授業で活用します。 授業到達目標: (1) 長崎大学はどういう大学なのか、社会との接点の観点から歴史的に説明できるようになる。 (2) 長崎大学で、今後どのような「学び」に挑戦しようと思うか、大学の歴史的特性を踏まえて自分なりに説明できるようになる。 (3) 長崎大学の出身者として、将来どのような活動にたずさわりながら社会との接点になっていこうと思うか、自分なりに言えるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 第 1 部: 日本近現代史と長崎大学の発展過程との関係を考えよう 第 1 回(10/2): 授業内容の説明/イントロダクション: 長崎大学の理念と「シブマーク」 第 2 回(10/9): 文明開化と日本型大学システムのはじまり - 幕末~明治 20 年代 - 第 3 回(10/16): 九州「帝国大学」争奪戦 - 明治 30~40 年代 - 第 4 回(10/23): 帝国主義国家としての高等教育システムの展開 - 大正~昭和初期 - 第 5 回(10/30): 戦時体制の中の高等教育と「運命の日」 - 昭和 10 年前後~昭和 20 年 - 第 6 回(11/6): 廃墟からの前進、総合大学・長崎大学の誕生、高度経済成長 - 昭和 20 年~昭和後期 - 第 7 回(11/13): 情報社会、法人化、新たな役割を模索する長崎大学 - 現代 - 第 2 部: 各学部と社会の接点を歴史的な観点から考えよう 第 8 回(11/27): 日本社会の中から見た各学部のあゆみ(1) 第 9 回(12/4): 日本社会の中から見た各学部のあゆみ(2) 第 10 回(12/11): 国際社会の中から見た各学部のあゆみ(1) 第 11 回(12/18): 国際社会の中から見た各学部のあゆみ(2) 第 12 回(1/8): 地域社会の中から見た各学部のあゆみ(1) 第 13 回(1/15): 地域社会の中から見た各学部のあゆみ(2) 第 14 回(1/22): 授業のまとめ(1) - 結局、長崎大学ってどんな大学? 第 15 回(1/29): 授業のまとめ(2) - 「長崎大学生である」自分のこれからを考える			
キーワード	長崎大学史、長崎、近現代史		
教科書・教材・参考書	授業時に配布するハンドアウト(配布物)を中心に進めます。 参考図書やインターネット URL などは、授業の時に適宜伝えます。		
成績評価の方法・基準等	・100 点を満点とします。 (1) 毎回の授業時に提出してもらう「要約・一言コメントシート」(30 点: 全到達目標対応) 未提出(未記入提出含む)は 1 回につき 5 点減点とします。 評価基準: 授業内容を要約できているか。授業に対する意見・疑問等を述べているか。 (2) 「長崎大学と社会」レポート(35 点。 A4:2 枚程度、字数:3000 字以下: 到達目標(1)対応) 評価基準: 自らの言葉で、かつ具体的に長崎大学と社会との関係を説明できているか。 (3) 「長崎大学生としての自分の現在・未来」レポート (35 点。 A4:2 枚程度、字数:3000 字以下: 到達目標(2)及び(3)対応) 評価基準: 自らの言葉で、かつ具体的に長崎大学生として学びたいことを説明でき、かつ、長崎大学のこれからで重要だと思うことを提言できているか。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	教養セミナーで学んだ基礎的な「レポートの書き方」をよく復習しておいて下さい。		